

## 様式4(機能別)の該当指定要件のA、B、D、E、Gのうち満たしていない項目について

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。記載の有無 **あり**

病院名: 琉球大学医学部附属病院

平成30年9月1日現在

※様式4(機能別)の該当指定要件のA、B、D、E、Gのうち満たしていない項目について、満たしていない項目とその理由と今後の見通し等について具体的に記載してください。(D、E、Gは、条件が該当し、満たしていない場合に記載してください)

満たしていない項目	指定要件での扱い	理由
例 医療安全管理者の配置(専任の医師が不在)	A	平成30年9月1日時点では専任の医師は配置できていないが(兼任で配置している)、平成31年4月1日段階での整備を行う予定である。
例 放射線治療の診療実績	A	平成29年〇月〇〇日～〇月××日までの期間、放射線治療機器の入れ替えを行ったため同期間の治療ができなかった。〇月△日以降は通常通りの治療を行っている。また、平成28年の1年間の治療実績は〇〇件であった。
1 (様式4機能別 32行) 初期治療内容に限らず、長期的視野に立った治療プロセス全体に関する十分なインフォームドコンセントの取得に努めている。	A	現在は、初期治療内容については十分なインフォームドコンセントができていいると思われるが、「長期的視野に立った治療プロセス全体」に関する「十分な」インフォームドコンセントは当院の一部の患者にしかできていない。今年度中に、すべてのがん患者に「長期的視野に立った治療プロセス全体」に関する「十分な」インフォームドコンセントができるように体制整備を行う予定。
2 (様式4機能別 35行) がん疼痛や呼吸困難などに対する症状緩和や医療用麻薬の適正使用を目的とした院内マニュアルを整備すると共に、これに準じた院内クリティカルパスを整備し活用状況を把握する等、実効性のある診療体制を整備している	A	現在院内クリティカルパスを整備・活用ができていない状態であるが、今年度中に緩和ケアセンター連絡会議の議題として検討していく予定。
3 (様式4機能別 54行) 思春期と若年成人(Adolescent and Young Adult; AYA)世代(以下「AYA世代」という。)にあるがん患者については治療、就学、就労、生殖機能等に関する状況や希望について確認し、必要に応じて、対応できる医療機関やがん相談支援センターに紹介している。	A	現在は、治療、修学、就労、生殖機能に関する状況や希望を確認することが当院の一部の患者にしかできていない。そのため、一部の患者にしか情報提供ができていない。今年度中に、全てのAYA世代がん患者に説明ができるように体制整備を行う予定である。今年度中に、希望者全員に当院のがん相談支援センター(含むハローワークとの連携による就労支援等)や妊・妊外来などしかるべき部署に紹介する体制を整備していく予定である。
4 (様式4機能別 55行) 生殖機能の温存に関しては、患者の希望を確認し、院内または地域の生殖医療に関する診療科についての情報を提供するとともに、当該診療科と治療に関する情報を共有する体制を整備している。	A	現在は、患者の希望を確認することが当院の一部の患者にしかできていない。そのため、一部の患者にしか情報提供ができていない。今年度中に、全ての対象がん患者に説明ができるように体制整備を行う予定である。(妊・妊外来(男性も対象)は開設済み)
5 (様式4機能別 56行) 小児がん患者で長期フォローアップ中の患者については、小児がん拠点病院や連携する医療機関と情報を共有する体制を整備している。	A	現在は体制が整備されていない。小児科と協議し、今年度中にはその体制を整備していく予定である。
6 (様式4機能別 99行) 緩和ケアチームの、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する常勤の医師((2)の①のオに規定する)で、身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師は、手術療法・薬物療法・放射線治療等、がん診療に関するカンファレンス及び病棟回診に参加し、適切な助言を行うとともに、必要に応じて共同して診療計画を立案している。	A	現在、対象の医師はカンファレンスや定期回診には参加せず、共同の診療計画の立案には参画していない。今後は参加ができるように、今年11月開催予定の緩和ケアセンター連絡会議の議題にして検討する予定である。
7 (様式4機能別 613行) 医療に係る安全管理の部門の長として常勤の医師を配置している。	A	当院では、安全管理部門の長は副院長の兼任としているので、専任ではない。別に、医療安全管理責任者(医師・教員)をおき、専従でその任にあたらせている。
8 (様式4機能別 585行) 地域の病院や在宅療養支援診療所、ホスピス・緩和ケア病棟等の診療従事者と協働して、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを月1回程度定期的に開催している。	A	現在、3か月ごとに定期開催(年4回)している。今年度は、会議を3回追加開催した。今後は、さらに回数を増やすことを検討していく。
9 (様式4機能別 589行) 緩和ケアセンターの構成員が参加するカンファレンスを週1回以上の頻度で開催し、緩和ケアセンターの運営に関する情報共有や検討を行っている。		毎週行っているカンファレンスではセンターの運営に関する情報共有や検討は行っていない。運営に関しては年に4回の緩和ケアセンター連絡会議で行っている。
10		